



JSTネットワーク形成地域型

とちぎサイエンスらいおん

http://www.tochigi-lion.net/

実践講座記事作成クラス



高島恵さん
(高根沢町)

発達障害にICT活用 学力向上、情緒も安定

鹿沼市みなみ小は、発達障害児を中心にパソコンと携帯ゲーム機を活用した情報機器（ICT機器）による教育に力を入れている。学力が向上すること、児童に自信が付き、情緒の安定につながるなどの効果を挙げており、全国から教育関係者が視察に訪れるという。

近年、発達障害の児童は増加傾向にある。県教委によると2013年5

— 鹿沼市みなみ小 —



竹之内崇教諭

に応募したことだった。読みが苦手な児童にはパソコンを使用し、デジタル教科書で読み上げる部分の色が変わるようにしたり、読みやすい字体に変えたりする。また、携帯ゲーム機で同じ形の図形を回転させて探すなどの空間認知トレーニング

ソフトやアプリは既存のものを使う。インターネットのゲームも利用する。竹之内教諭は「どんなソフトを使っているかより、児童のつまずきややりにくさがどこにあり、それを

グを行っている。「ゲームはどれも遊び感覚で学べるものばかり。児童の意欲にもつながり、自然と集中力が身に付いてくる」と同校特別支援教育コーディネーターの竹之内教諭。保護者からは「子どもの学力が上がった」「落ち着いて学校生活が送れている」などと歓迎の声が寄せられている。

支援するにはどのソフトが効果的なのかを見極め、マネージメントする力が必要」と語る。発達障害と機器活用。全国的に教育にタブレットを導入する動きもあり、竹之内教諭は「今後とも研究を重ねていきたい」と抱負を語った。



児童の障害や特徴に合わせてさまざまな機器やソフトの組み合わせを用いる

サイエンスらいおん実践講座

栃木の科学技術を元気にする活動に取り組む「とちぎサイエンスらいおんプロジェクト」では、栃木県内の研究者・技術者またはサイエンスイベント取材し、新聞・テレビ・Webサイトなどを通じてその魅力を発信できる力を身につける実践講座を行ってきました。映像制作クラスの最優秀作品は、本日18:00～とちぎテレビ「イブニング6」で放映予定です（<http://www.tochigi-lion.net/>）。また、実践講座のまとめ（リフレクションカフェ）を2月9日13:20～宇都宮市豊郷台の帝京大学で開催します。入場無料、どなたでも参加できます。ぜひご参加ください。

企画制作 / 下野新聞社営業局